

特集

大学生 & 市議会

選挙権年齢が引き下げられ、若者の政治参画が期待されていますが、他の世代と比べて投票率は低い傾向にあります。なぜ若者は、政治に関心を示さないのでしょうか。今回は、次世代を担う日本赤十字広島看護大学の皆さんに、自らの将来を想像しながら、政治への期待や不満を語っていただきました。



腕をクロスさせて赤十字のポーズ

いま若者は政治に何を思うのか

〈赤十字看護大学に進学しようと思ったきっかけは何ですか？〉

- ・高校の先生からいい大学だと勧められ、行きたいと思った。
- ・開発途上国などの医療に興味があった。自然に囲まれた、この素晴らしい環境で医療を学びたいと考えた。
- ・親が看護師をしているので。
- ・私は兵庫県出身ですが、廿日市市にはあたたかい方が多く、いいまちだと思う。

〈廿日市市へ要望したいことはありますか？〉

- ・初めは、廿日市の読み方すら分らなかった。カキやアナゴがおいしい。私の出身地、長野には海がない。でもここではいつもそばには海があり、環境がいい。
- ・世界遺産の宮島は大好き。弥山にも登った。
- ・バスの便数を増やしてほしい。それと、街灯が少ない。バスがなければ自宅や駅まで歩いて帰らないといけない。その際に、暗くて危険を感じることがある。

- ・廿日市市には映画館がないので、ゆめタウンに作ってほしい。

〈テレビや新聞では議員の不祥事などが報道されていますが、皆さんの議員に対するイメージについて教えてください〉

- ・自分と直接かわっている感覚がない。
- ・国・県・市など、大きなものを動かしているというイメージがある。

〈3月の市議会議員選挙に行かれた方はいますか？〉

- ・一人挙手（廿日市市に住民票がない方もいらっしやいます。）

〈どうしたら若い方の投票率が上がると思いますか？〉

- ・インターネット投票ができるようになれば、若い人の投票率が上がると思う。ネットでは候補者の情報収集と投票が一度にできる。

〈これからの政治に何を期待しますか？〉

- ・2025年問題を真剣に考えて欲しい。自分たちが何人もの高齢者を支えなければいけない時代。その負担を軽減させるような政策を考えてほしい。
- ・看護師は女性が多い、出産や子育てが終わった後に、職場にあたりまえに復帰できるような環境を作ってほしい。
- ・収入面が心配。地域によって給料が違う。田舎ほど仕事に見合った賃金がもらえないので、働く意欲が失われていく。廿日市市でも仕事に見合った賃金がもらえるようになればいい。

他にも色々なお話を伺うことができました。当日はお忙しい中、ご協力本当にありがとうございました。対談の内容を少しでも市政に反映させたいと思っています。



田中 亜実さん

櫛山 紗良さん

高木 陽央さん

山岡 風歌さん

吉田 碧生さん

竹内 尚輝さん